



浜松市デジタル・スマートシティ 官民連携プラットフォーム 第2回運営委員会



令和4年9月5日



1 開会

2 取組状況、各種動向

3 意見交換

(1) 人材育成について

- ①地域の大学と連携したスマートシティの人材育成（CR-MAPプログラム）について
- ②浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センターの創設について
- ③日本リスキリングコンソーシアムへの参画について

(2) マイナンバーカードの交付と利活用の促進について

4 閉会

あいさつ



委員長（浜松市副市長） 山名 裕

1. 会議参加時

- 基本的に「ビデオはON」、「音声はOFF（ミュート）」

2. ご発言時

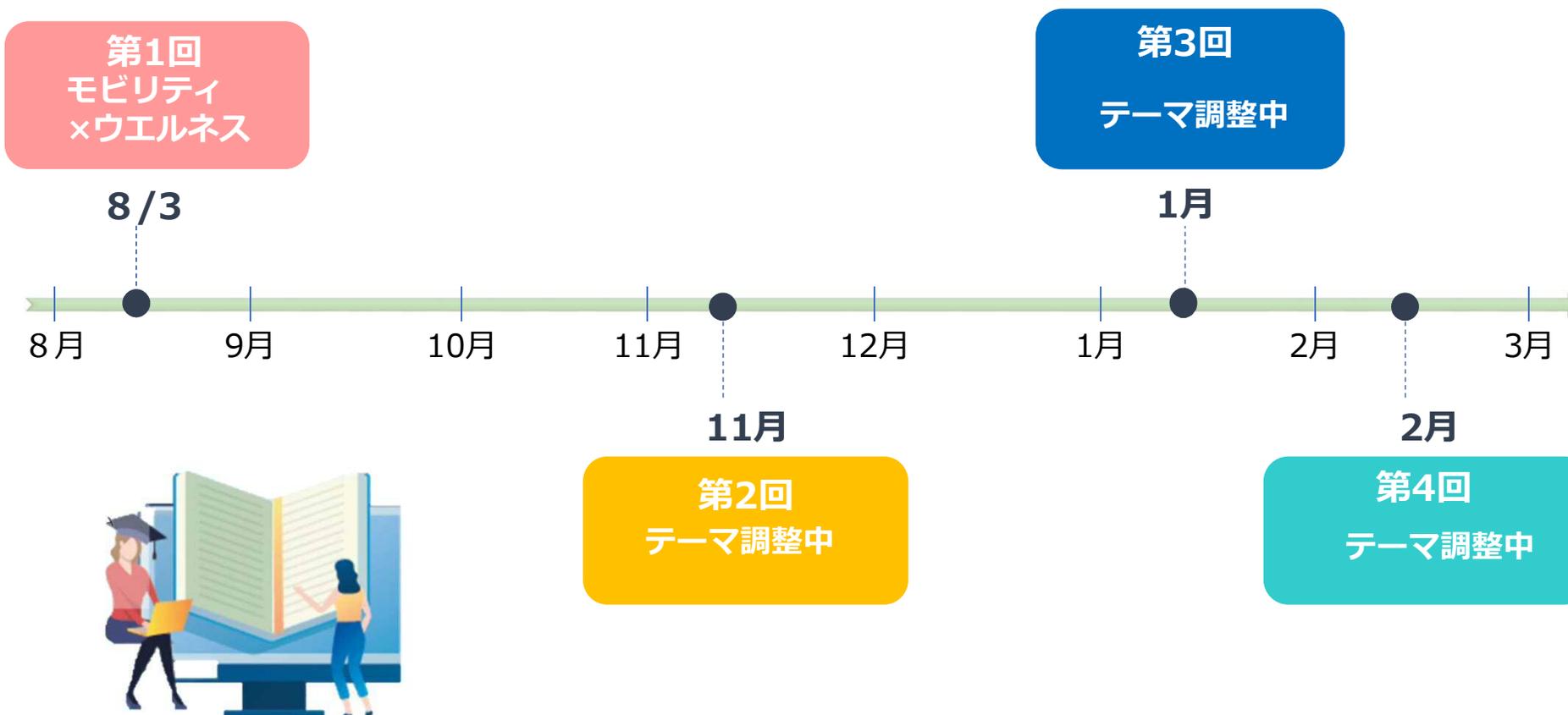
- オンラインでの参加者
「音声をミュート解除」し、最初にお名前をお伝えいただいたのちにご発言ください。
- 現地参加者
テーブルのマイクにてご発言ください。

2 取組状況、各種動向

(1) “デジタル・スマートシティ浜松” ウェビナーシリーズ

分野間連携の取組等を紹介する「ウェビナー」を、年4回開催。

＜スケジュールと紹介分野＞



主催：浜松市、官民連携PF 対象：どなたでも視聴可能（無料）

第1回 ～モビリティ×ウェルネス～

令和4年8月3日（水） 13：30-15：30
参加申込者：81名

趣旨説明

浜松市デジタル・スマートシティ推進課

講演

「モビリティ×ウェルネスがWell-being
向上にもたらす効果」
浜松ウェルネス推進協議会 顧問 池野 文昭 氏

取組紹介

- ①「運転行動特性と認知機能の関係性実証」
スズキ株式会社 熊瀧 潤也 氏
浜松医科大学 山本 清二 氏
- ②「公共交通機関×ウォーキングによる健康増進」
遠州鉄道株式会社 磯部 隆一 氏
- ③「マイレージアプリを活用した移動寿命の延伸」
イーデザイン損害保険株式会社 茂谷 逸平 氏

パネル ディスカッション

- ▼登壇者
池野 文昭 氏、熊瀧 潤也 氏、山本 清二 氏、
磯部 隆一 氏、茂谷 逸平 氏
- ▼ファシリテーター
(株) HEART CATCH 西村真里子 氏



浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、
当日の動画と資料を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/webinar/2022-1>

(2) PF会員によるソリューションピッチ

第1回PF会員によるソリューションピッチ

- 今年度第1回のソリューションピッチは、デジタル・スマートシティ構想第一期重点分野の中から、「観光・商業」「ウェルネス」「防災」などのテーマを設定し、開催。

令和4年8月5日(金) 13:30-16:00

登壇団体：PF会員（8団体）

視聴参加者：PF会員及び浜松市各課

開会挨拶	浜松市デジタル・スマートシティ推進部 部長 内藤 伸二郎
インプット	浜松市フェロー 東 博暢 氏
ピッチ	ピッチ(6分)・質疑応答(3分) × 8 団体
講評	浜松市フェロー 東 博暢 氏
閉会挨拶	浜松市デジタル・スマートシティ推進課 課長 瀧本 陽一
交流会	登壇団体および視聴者による 交流会

登壇団体（登壇順）	テーマ
ソフトバンク株式会社	産業（農林業）
株式会社フィーリンク	観光・商業
浜松ケーブルテレビ株式会社	インフラ
株式会社ドコモビジネスソリューションズ	観光・商業、エネルギー
中部電力株式会社	ウェルネス、社会参加促進
西日本電信電話株式会社	その他（スポーツ）
東京海上日動火災保険株式会社	モビリティ、観光・商業
株式会社TTES	インフラ

第1回PF会員によるソリューションピッチ

〈ソリューションピッチの様子・アーカイブ〉



HAMAMATSU
HDSC MONTH

R4年度第1回ソリューションピッチ

2022年9月1日(金)に、浜松市東区1077-2のデジタル・スマートシティMHPにて開催しました。

各登壇者発表概要書

掲載が可能な団体・企業等のピッチ概要書は以下のとおりです。

<p>ソフトバンク株式会社</p> <p>【伊賀市】伊賀市と伊賀地域の発展を促進し、暮らしやすさの実現に、安心のサポート。</p> <p>テーマ：産業（農林業）</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>	<p>株式会社ファーリンク</p> <p>【伊賀市】AIによる工場生産の最適化。</p> <p>テーマ：産業・建設</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>
<p>浜松ケーブルテレビ株式会社</p> <p>【伊賀市】テレビによる地域振興の推進。</p> <p>テーマ：エンタメ</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>	<p>株式会社ドコモビジネスソリューションズ</p> <p>【伊賀市】デジタルによる行政サービスの向上。</p> <p>テーマ：産業・建設（G・B・S）</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>
<p>東京海上日動火災保険株式会社</p> <p>【伊賀市】防災（デジタル）の推進。</p> <p>テーマ：セキュリティ、観光</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>	<p>株式会社TTES</p> <p>【伊賀市】AIによる行政サービスの向上。</p> <p>テーマ：エンタメ</p> <p>👉 ピッチ概要書はこちら</p>

開催概要

【開催日時】
令和4年9月1日(金) 13:30~16:00

【開催場所】
浜松市東区中央1丁目14-7
MHPエディンブによる緊急事態宣言対応型MHP

【申込】
PF会員、浜松市デジタル・スマートシティ推進協議会プラットフォーム会員 ※団体
申込先：浜松市デジタル・スマートシティ推進協議会プラットフォーム事務局

【申込】
申込先：浜松市デジタル・スマートシティ推進協議会プラットフォーム事務局

プログラム

浜松デジタル・スマートシティMONTHのHPにて、掲載許可をいただいた登壇団体のピッチ概要書を公開しています。

<https://www.month.hdsc.city/pitch>

(3) 講師派遣制度

講師派遣制度

概要

官民連携プラットフォーム会員が講師となり、市内学校の授業等で講座を開催する

講師

官民連携プラットフォーム会員 ※講師：12団体

派遣先の対象

市内の小学4～6年生、中学生、高校生

講義内容

- デジタル・スマートシティ浜松について
- 各分野（各団体）の取組紹介
例:スマート農林業、デジタル活用による地域課題の解決



スケジュール

2022年度											
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
講師募集											
	派遣先募集										
		開催									

第1回講師派遣の開催

日時

令和4年7月8日（金） 14：10-14：55

講師

ソフトバンク株式会社

派遣先の対象

浜松市立篠原小学校 6年生児童約120名

講義内容

「ミライの社会を覗いてみよう！」

デジタル化の進んだ将来の社会の全体像や、仕事・生活の姿を動画を交えながら紹介し、子どもたちが自分の生き方を考えるきっかけを提供する。

講座の様子を市公式noteにて紹介中！

リンク：

<https://hamamatsu-city.note.jp/menu/173803>



No.	日程	学校	対象	講師	講座名
第1回	7月8日(金) 14:10-14:55	浜松市立 篠原小学校	6年生 約120名	ソフトバンク(株)	「ミライの社会を覗いて みよう！」
第2回	9月22日(木) 10:50-12:40	静岡県立 浜松湖北高等学校	3年生 21名	西日本電信電話(株)	「デジタルデータの活用 による静岡県の持続的 なわさび産業振興」
第3回	9月29日(木) 13:20-15:00	浜松市立 富塚小学校	4年生 78名	(特非) 六星 ウイズ半田	「ICTを考える」
第4回	10月18日(火) 13:30-14:15	浜松市立 平山小学校	6年生 10名	(株)トラジェクトリー	「ドローンの未来につい て」

(4) Hamamatsu ORI-Project

令和4年度の事業スケジュール

- 4月27日(水)～5月27日(金) の1か月間、参画する事業者の募集を行いました。
- 事業構想支援期間は6～7月の2か月間、事業検証支援期間は8月～翌年2月の7か月間です。
- 3月中下旬に、事業検証後の成果発表会を開催予定です。

小項目	2022											2033		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
全体スケジュール	募集		事業構想支援				事業検証支援					成果報告		
個別日程			▼お申し込み 6月3日(金)	▼ワークショップ 7月4日(月)午後 ▼第1回データ連携基盤 活用勉強会 7月14日(木) ▼事業プレゼンテーション 7月26日(火) SLACKによる技術相談、サービス構想支援等対応						▼事業検証 中間報告会 11月中旬 (第2週予定)		▼成果 発表会 3月中下旬		
			・個別のリンク (概ね月2回、開催頻度や日程調整はSLACKで個別に実施)											

令和4年度 ORI-Project事業構想支援 募集結果

- 1か月の募集期間の中で、15社のエントリーがありました。
- 取組テーマとしては、「市民の安全・安心」が多く選択されました。

地域別内訳



東京 11社

神奈川 2社

千葉 1社

静岡 1社

合計 15社

選択テーマ



市民の安全・安心

9社



複数分野の連携

4社



その他

2社

- 下記の15社を対象に、令和4年6月～7月にわたり、2か月間の事業構想支援を実施しました。

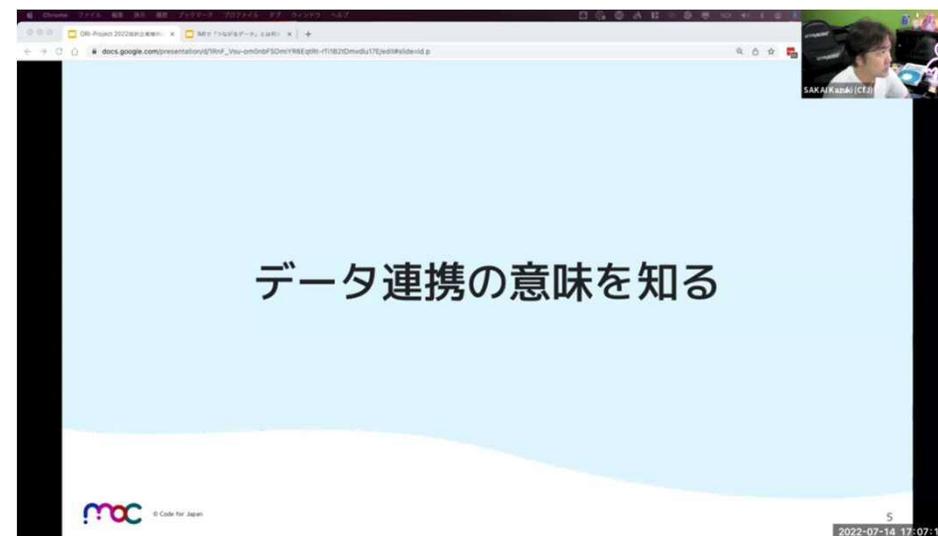
	企業・団体名	エントリー時点の提案サービス
1	株式会社JX通信社	住民参加型速報ニュースアプリ「NewsDigest」 SNSリスク情報配信サービス「FASTALERT」
2	イーデザイン損害保険株式会社	体験型 交通安全マップ
3	株式会社フォレストシー	奥山・中山間地域でも繋がる独自LPWA無線規格「ジオウェイブ」を活用した 通信インフラ構築とIoTサービスの提供（林業支援・獣害対策・防災対策等）
4	TXP Medical株式会社	NSER mobile 救急医療DXによる救急搬送最適化プロジェクト
5	国際航業株式会社	道路パトロール業務の効率化（道路パトロールシステム）
6	株式会社コネクター・ジャパン	特定健診予約・特定保健指導システム
7	一般社団法人One Smile Foundation	AIによる街の幸福度向上と可視化プロジェクト2
8	株式会社トラストアーキテクチャ	ごみ削減を実現する活動記録SNSサービス
9	株式会社GreatValue	助け合いDX × データ連携基盤
10	PreMed株式会社	医療現場補助・患者補助ソリューションCompass
11	株式会社Helte	医療費・介護費の抑制を目的としたミドル～シニア世代のデジタルデバイドの 解消とICTを活用した社会参加の促進プロジェクト「Sail」
12	ケイスリー株式会社	「一人ひとりの人生にそっと寄り添い、支える行政」を実現させる個別化 サービス（仮称）
13	ユニソック合同会社	AVS（Active Volunteer System）～ボランティア体験を通して、個人の 主体性を高める法人向けサービス～
14	八千代エンジニアリング株式会社	河川を流下する人工系ごみ（プラ含む）輸送量データに基づくごみ削減対策
15	株式会社アール・スリー	EDiTuS My City HAMAMATSU

- 事業構想支援の期間中には、オンラインによる事業構想メンタリング（各団体2回程度実施）、SLACKを活用した相談対応等、各参画団体のニーズに合わせた個別支援を実施しました。
- 個別支援のほか、7月には、交流会も兼ねた事業構想ワークショップ（リアル開催）やデータ連携基盤活用勉強会（オンライン開催）を行いました。
- 7月26日(火)には、2か月間の事業構想の成果発表として事業プレゼンテーションをしていただき、有望な5つの取組について、8月以降の事業検証支援の対象として採択しました。

7月4日の事業構想ワークショップ
（リアル開催）の様子



7月13日のデータ連携基盤活用勉強会
（オンライン開催）の様子



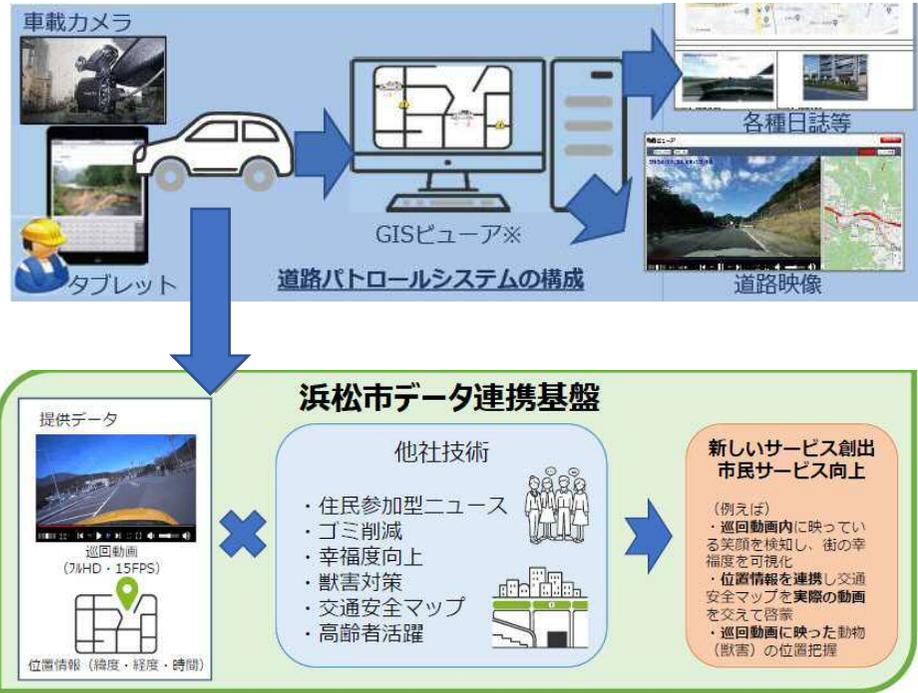
令和4年度の事業検証支援先

- 下記の5者に対し、令和4年8月～令和5年2月に掛けて事業検証支援を実施します。

- 国際航業株式会社（本社所在地：東京都新宿区）
サービス名「道路パトロール業務の効率化 ～道路パトロールシステム～」
- 株式会社JX通信社（本社所在地：東京都千代田区）
サービス名「リスク関連情報収集サービス「FASTALERT」と「NewsDigest」を利用した地域防災力向上・地域活性化に向けた取組み」
- 株式会社アール・スリー（本社所在地：神奈川県横浜市青葉区）
サービス名「EDiTuS My City HAMAMATSU」
- ユニソック合同会社（本社所在地：静岡県駿東郡長泉町）
サービス名「『AVS』 Active Volunteer System ～ボランティア体験を通して、個人の主体性を高める法人向けサービス～」
- 下記4社による連携体
 - 株式会社GreatValue（連携体の代表、本社所在地：東京都港区）
 - イーデザイン損害保険株式会社（本社所在地：東京都新宿区）
 - 株式会社Helte（本社所在地：千葉県柏市）
 - 株式会社トラスト・アーキテクチャ（本社所在地：東京都港区）
サービス名「浜松市の生活を情報で支援する浜松ヒーローズ」

個別プロジェクトのご紹介①

国際航業(株)



サービス名称	道路パトロール業務の効率化 ～道路パトロールシステム～
サービス概要	道路パトロールカーにスマホやタブレットを設置して道路状況を撮影し、位置情報と併せて記録を行うことで、人的負担の重い道路パトロール業務の効率化を図る。データ連携基盤との連携により、位置情報と紐づいて記録した動画・静止画の様々な分野への活用を検討。

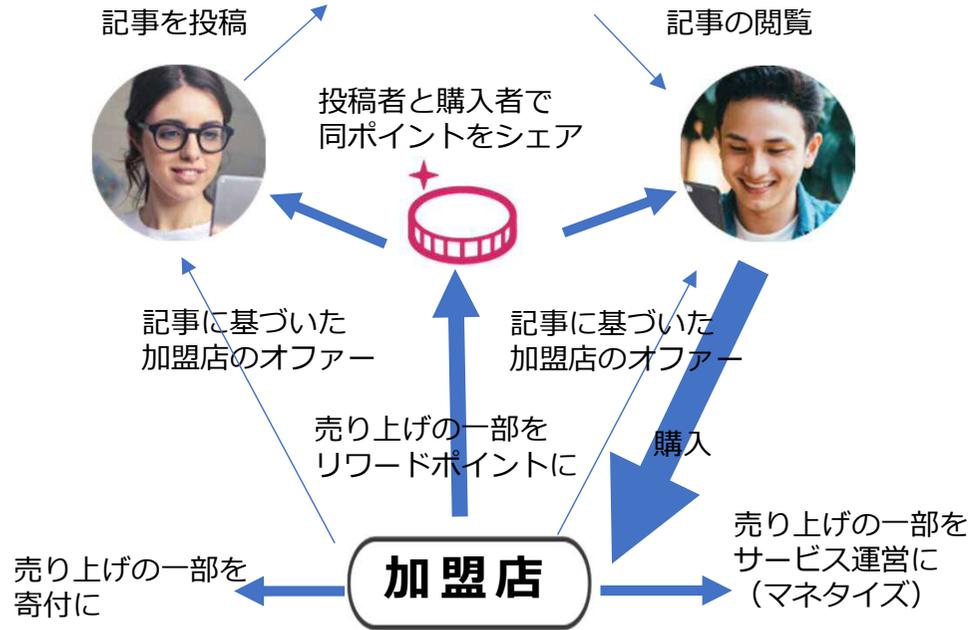
(株)JX通信社



サービス名称	リスク関連情報収集サービス 「FASTALERT」と「NewsDigest」を利用した地域防災力向上・地域活性化に向けた取組み
サービス概要	SNSの情報をAIで集約し、現に発生している事故や災害等の情報を位置情報と併せて整理できる「FASTALERT」とユーザーからの情報投稿アプリ(報酬付)「NewsDigest」から得られる情報を組み合わせ、データ連携基盤を介して、危険情報・リスク情報を可視化。

個別プロジェクトのご紹介②

(株)アール・スリー EDiTuS



サービス名称	EDiTuS My City HAMAMATSU
サービス概要	店舗・EC・観光関連等を中心に、オススメ情報や感想等を投稿できるアプリ（ECサイトや予約サイトと連動し、売上につながる投稿をした人及び購買行動を行った人にポイントを付与）を市内で検証。データ連携基盤を活用してユーザーの行動実績データ・移動データを集計し、分析・可視化。

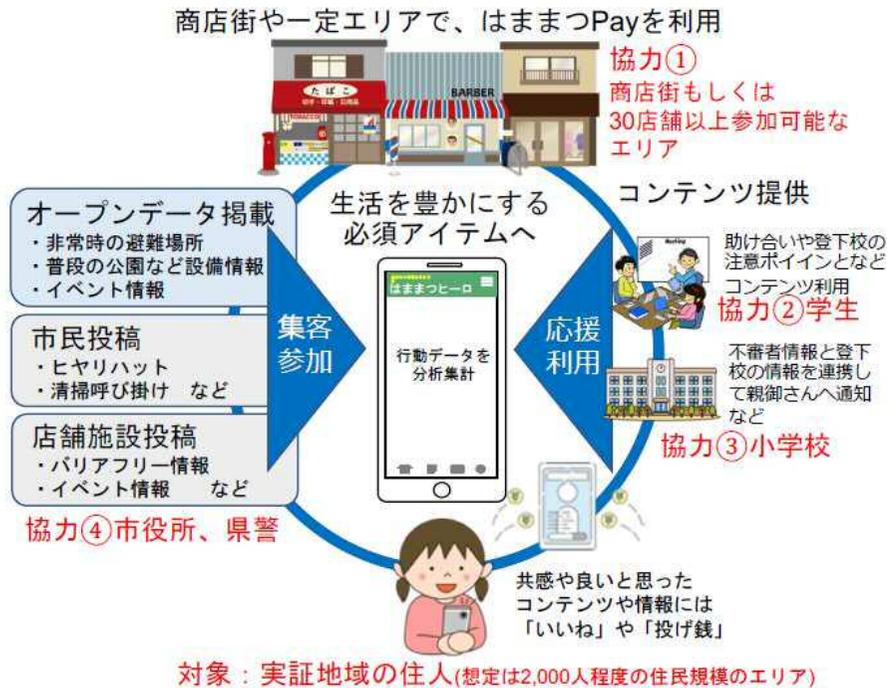
ユニソック合同会社



サービス名称	『 AVS 』 Active Volunteer System ～ボランティア体験を通して、個人の主体性を高める法人向けサービス～
サービス概要	様々な主体が個別に発信している、浜松市内のボランティア情報について、専用のLINEアプリを通じて集約して発信し、実際の参加実績を集計。データ連携基盤を活用し、ボランティア実績からエリア別の「SDG s スコア」を分析・可視化。

個別プロジェクトのご紹介③

(株)GreatValueを代表とする4者連携



体制

- 株式会社GreatValue
連携体の代表、助け合いプラットフォーム運営
- イーデザイン損害保険株式会社
親子で活用できる、地域内の危険箇所投稿アプリ「もしかもマップ」のプラットフォーム上での運営
- 株式会社Helte
日本語で外国人と話せるアプリ「Sail」のプラットフォーム上での運営
- 株式会社トラスト・アーキテクチャ
プラットフォーム関連のデータ分析・可視化

サービス名称	浜松市の生活を情報で支援する浜松ヒーローズ
サービス概要	<p>事業構想支援ワークショップを通じて連携した4団体による共同提案。地域での助け合いに対し、加盟店で活用できるポイントを付与できるアプリ「ヒーローズ」をプラットフォームとし、親子で活用できる地域内の危険箇所投稿マップ、日本語で外国人と話せるアプリ等の複数サービスや、オープンデータ等における地域にまつわる情報発信サービス等の複数のコンテンツを組み合わせ提供することで、地域の活性化を図る。</p> <p>紐づいた各サービスから得られる情報（ユーザーの投稿による危険箇所情報、ユーザーの多文化交流時間の集計、ユーザーの購買状況等）をデータ連携基盤を活用して匿名化して集約・分析することで、新たな価値の提供を目指す。</p>

(5) データ連携基盤活用サービス実装支援補助金

データ連携基盤活用サービス実装支援補助金について

- 過年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件など、データ連携基盤を活用したサービスの地域実装に向けた取組に掛かる経費を補助。
- 令和4年度の新規事業であり、デジタル田園都市国家構想推進交付金（デジタル実装タイプ TYPE 2）を充当。

1 目 的

本市においてデータ連携基盤を活用したサービスの実装（調査や実証実験にとどまらず、継続的なサービス提供を開始すること）に向けて取り組む民間企業を支援し、データ連携基盤を有効活用した先端サービスの実装により本市の課題解決や市民QoL（生活の質）の向上を図るとともに、本市発の新たなイノベーションの創出を目指す。

2 事業概要

- ◎ データ連携基盤を活用したサービスを本市において早期に実装することを目指して取組を行う事業者に対し、その取組に必要な資機材のリース費用、取組の協力者への謝金、国内の交通費等を補助する「浜松市データ連携基盤活用サービス実装支援補助金」を創設し、運用する。
- ◎ 補助金額は、補助上限額200万円/件、補助率2/3以内。

令和4年度の補助事業採択先

- 下記の4者に対し、補助金の交付決定を行いました。

■ 株式会社オサシ・テクノス（本社所在地：高知県高知市）

補助事業名

「冠水エリア予測システム」

■ 株式会社フジヤマ（本社所在地：静岡県浜松市中区）

補助事業名

「浜松市データ連携基盤を活用した斜面表層崩壊モニタリングサービス構築業務」

■ 八千代エンジニアリング株式会社（本社所在地：東京都台東区）

補助事業名

「河川を流下する人工系ごみ（プラ含む）輸送量データに基づくごみ削減対策」

■ 一般社団法人One Smile Foundation（本社所在地：神奈川県横浜市保土ヶ谷区）

補助事業名

「高齢者施設におけるSmiral-スマイラル-の実装事業」

個別の補助事業のご紹介①

(株)オサシ・テクノス



サービス名称	冠水エリア予測システム
サービス概要	令和2年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件。 市内の冠水が発生するエリアの中で、水深が最大になると考えられる地点付近に水位センサを設置し、その水深と国土地理院の数値標高データを組み合わせることで、リアルタイムに冠水している領域を推測し、地図上で色分けして可視化する。

(株)フジヤマ



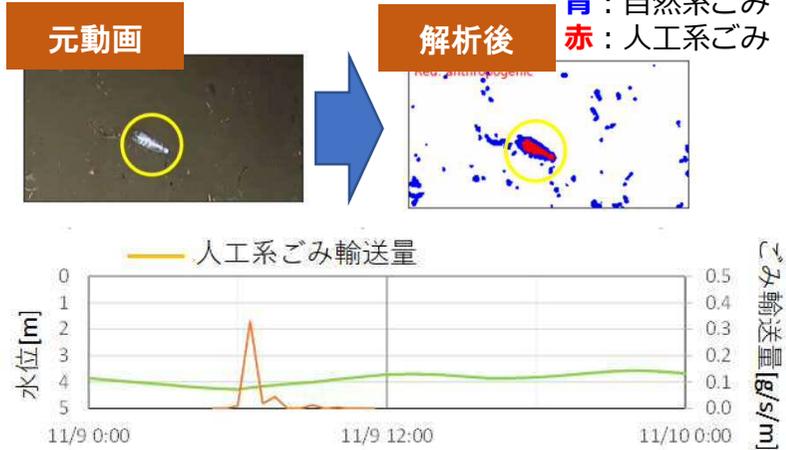
サービス名称	浜松市データ連携基盤を活用した斜面表層崩壊モニタリングサービス構築業務
サービス概要	令和3年度Hamamatsu ORI-Projectの支援案件。 中山間地域の山林等の危険箇所を抽出し、抽出した箇所にIoT振動センサーを設置し、斜面崩壊の危険に関してリアルタイムでデータの収集とモニタリングを行い、データ連携基盤を介してクラウドGIS上に可視化する。

個別の補助事業のご紹介②

— 八千代エンジニアリング(株) —



市内の河川にビデオカメラと水位計を設置し、定点監視。撮影した動画を独自技術で解析。



サービス名称	河川を流下する人工系ごみ（プラ含む）輸送量データに基づくごみ削減対策
サービス概要	令和3年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件。 市内の河川の水面をビデオカメラで定点撮影し、得られた動画について、RIAD（水表面の動画データから川を流れるごみの量を把握する技術）による分析を実施し、この分析データを元に、地図上にゴミ輸送量を可視化することで、清掃活動やゴミ削減活動等の活発化を促す。

— (一社)One Smile Foundation —



浜松市内の高齢者施設に専用のAI笑顔検知アプリを搭載したスマホ等を設置。

場所ごとの笑顔カウント数（1日単位）をほぼリアルタイムでアプリ画面に反映



今笑顔を検知したことが一目でわかるエフェクト



サービス名称	高齢者施設におけるSmiral-スマイラルの実装事業
サービス概要	令和3年度のHamamatsu ORI-Projectの支援案件。 市内の高齢者施設に、AIによる動画認識で笑顔の検知とカウントを行う専用アプリをインストールした端末（スマホやタブレット等）を設置し、笑顔の検知とカウントを実施し、カウントした笑顔の回数×1円の寄附を行う。

(6) 浜松デジタル・スマートシティMONTH

「デジタルファースト宣言」の理念等の普及・浸透を図るとともに、先進技術を活用したサービス等に市民の方が触れる機会を設けることで、「デジタル・スマートシティ浜松」推進の機運を醸成する。

開催期間

令和4年10月

※<浜松市>デジタルファースト宣言 令和元年10月31日

※<国>令和4年以降は、毎年10月を「デジタル月間」、
毎年10月の第一日曜日・月曜日を「デジタルの日」に位置づけ
(令和4年は10月2日・3日)

開催内容

- 主催事業
 - 官民連携PFが開催するオンラインフォーラム
- 冠事業
 - 企業や各種団体が実施するイベントやセミナー



冠事業

- 企業や各種団体がイベントやセミナーを開催。
- MONTH HP、広報はままつ、静岡新聞等で周知予定。

冠事業一覧（全29事業）

※開催日順

No.	事業名	主催
1	浜松商工会議所パソコン教室「無料体験&教室見学会」	浜松商工会議所
2	プロにPR動画制作をお願いしてみませんか？HAMAMATSU動画マッチングサイト	浜松商工会議所
3	浜松科学館でのスマート農業展示	浜松産業部農業水産課
4	出世大名家康くんARフォトコンテスト(南区地域力向上事業中田島オータムフェスタ)	浜松市南区区振興課
5	浜松市土木スマホ通報システム新「いっちゃお！」の運用開始	浜松市土木部道路保全課
6	経営に関するオンライン無料セミナーを多数開催します	Co-startup&Community FUSE
7	外国人のための日本語教室 初級クラス	浜松市企画調整部 国際課
8	外国人のための日本語教室 ひらがなカタカナ漢字クラス 夜間オンラインコース	浜松市企画調整部 国際課
9	オンライン子育て支援セミナー 親子料理教室	株式会社杏林堂薬局（はままつママゼミ）
10	女性のための就活セミナー（幸せになるための仕事の選び方）	浜松市産業部産業振興課
11	防災デジタル教室～家族で挑戦！防災まちあるき～	浜松市防災学習センター
12	音楽を通じたSTEAM教育と市民協働によるコンサート	特定非営利活動法人浜松ものづくり工房

冠事業

No.	事業名	主催
13	みんなでやらまい、やっちゃお！ 3か月ごとに、スキルアップ！ お持ちのスマホ・PCスキルを活かして、地元浜松を応援しませんか？	夢トロッコ
14	第2回 Rendir CUP オンラインサッカー大会 ～eスポーツで浜松を盛り上げよう～	一般社団法人レンジル浜松スポーツクラブ
15	外国人のための日本語教室 読み書きクラス	浜松市企画調整部国際課
16	外国人のための日本語教室 中級クラス	浜松市企画調整部国際課
17	知名度・集客・売上げアップ！ ホームページ作成「ウェブサポ」セミナー	浜松商工会議所
18	働き方改革導入促進セミナー	浜松市産業部産業振興課
19	新居の設計前に知っておきたい！ 快適ITライフのつくり方	SBSマイホームセンター（はままつママゼミ）
20	親子で体操をしながら最新IoT機器を体感！ 節電&楽家事に！？	エネジン株式会社（はままつママゼミ）
21	オンライン子育て支援セミナー 幼児食講座	株式会社杏林堂薬局（はままつママゼミ）
22	海外ビジネスセミナー（IT産業を中心に成長を遂げるインドの最新情報）	浜松市産業部産業振興課ほか
23	Challenge to society5.0 in HAMAMATSU～数学コンテスト・特別講座～	浜松市産業部スタートアップ推進課
24	子育てに役立つ！ ぴっぴ活用講座	浜松市子育て情報サイトぴっぴ
25	ITなんでも相談会	浜松商工会議所
26	第30回ハママツ・ジャズ・ウィーク「ヤマハ ジャズ フェスティバル」（ライブ配信）	浜松市ほか
27	キソから知ろう！ かしこいお家づくり♪	浜松いわた信用金庫（はままつママゼミ）
28	就職氷河期世代向け個別就職相談会	浜松市産業部産業振興課
29	デジタルツールを活用したワークショップ～将来、自分のやりたいことを発見する～	株式会社ドコモビジネスソリューションズ

(7) デジタル・スマートシティ浜松オンラインフォーラム

概要

開催日時： **令和4年10月26日（水） 13：15 - 16：50**

主催：浜松市、浜松市デジタル・スマートシティ官民連携プラットフォーム
※Zoomウェビナーによるオンライン開催

テーマ

持続可能で市民の幸福感（Well-Being）あふれるまちづくり
～国土縮図型都市・浜松の挑戦～



時 間	内 容
13:15-13:20	【開会挨拶】 浜松市長 鈴木 康友
13:20-13:50	【インプットセッション】 浜松市のWell-Beingや幸福度因子から見た本市の特徴 モデレーター：浜松市フェロー 南雲氏 パネリスト：浜松市長 鈴木 康友、浜松市フェロー 東氏、浜松市フェロー 白坂氏、 浜松ウエルネス推進協議会顧問 池野氏
13:50-14:30	【セッション1】 デジタルを活用した市民参加型のまちづくり モデレーター：(株)HEART CATCH 西村氏 パネリスト：浜松市フェロー 関氏、浜松市内で活動するコミュニティ 小木氏、 はままつ子育てネットワーク ぴっぴ 原田氏、山ノ舎 中谷氏
14:30-15:10	【セッション2】 官民共創で目指すデータ連携基盤を活用したサービスの実装 モデレーター：浜松市フェロー 関氏 パネリスト：(株)フジヤマ 山浦氏、八千代エンジニアリング(株) 柴田氏 (株)オサシテクノス 古島氏、(一社)One Smile Foundation 辻氏
15:10-15:20	【休憩】
15:20-16:00	【セッション3】 デジタル・スマートシティ推進に係る人材育成 モデレーター：浜松市フェロー 日下氏 パネリスト：浜松市フェロー 南雲氏、浜松市フェロー 陳内氏、 浜松医科大学 山本氏、AWSジャパン 大富部氏
16:00-16:50	【セッション4】 デジタル田園都市国家構想のリファレンスシティへ モデレーター：浜松市フェロー 東氏 パネリスト：浜松市長 鈴木 康友、浜松市フェロー 陳内氏、浜松市フェロー 関氏、 浜松市フェロー 日下氏、浜松市フェロー 南雲氏、浜松市フェロー 白坂氏、 浜松ウエルネス推進協議会顧問 池野氏

(8) デジタル技術活用支援

事業目的

1. 地域に根差したデジタル技術相談人材の育成
2. 育成した人材による支援体制の構築

事業スキーム

NPO法人まちづくりネットワークWILLへの業務委託により実施

デジタル技術 相談人材

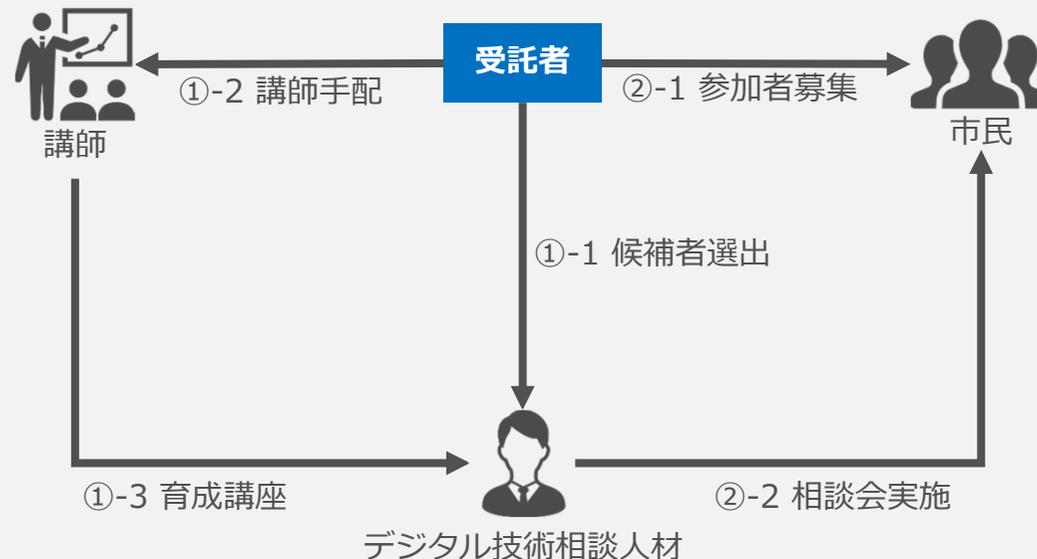
水窪地域を対象として、12名の相談人材候補者を選出

① 相談人材の育成

- ・ 育成する人材の候補者の選出
- ・ 育成プログラムの運営

② 相談体制の構築・運用

- ・ 定期的な相談会の開催、運営
- ・ 相談会の広報、参加者の募集



浜松市デジタル技術活用支援事業

- 水窪地域の各集落ごとにデジタル技術相談人材の候補者を12名選出
- 9月まではデジタル技術相談人材の育成研修を実施
- 10月からは育成したデジタル技術相談人材による相談会を開催し、今年度は全6回の相談会を開催予定

日 程	時 間	場 所	内 容
令和4年7月23日	10:00-12:00	自立高齢者コミュニティセンター	研修①（第1回）
8月28日	10:00-12:00	自立高齢者コミュニティセンター	研修①（第2回）、研修②
9月6日	10:00-12:00	自立高齢者コミュニティセンター	研修③
10月22日	10:00-12:00	自立高齢者コミュニティセンター	相談会①
11月（日未定）	10:00-15:00	水窪文化会館	相談会②
12月10日	10:00-15:00	自立高齢者コミュニティセンター	相談会③
令和5年1月21日	10:00-15:00	自立高齢者コミュニティセンター	相談会④
2月18日	10:00-15:00	自立高齢者コミュニティセンター	相談会⑤
3月11日	10:00-15:00	自立高齢者コミュニティセンター	相談会⑥

※ 研修①は感染症対策のため2回に分けて開催

国施策や市内の幅広い団体の取組との連携

- ・ 協働センター等で市が主催する講座の他、幅広い団体がスマホやZoomの使い方などのデジタル技術活用講座を開催
- ・ 総務省は「デジタル活用支援推進事業」により、地域連携型のスマホ講座の実施費を補助
- ・ さまざまな取組の情報を集約し、市のホームページで発信

デジタル活用講座の取組情報を集約・発信



デジタル活用
支援推進事業



携帯キャリア店舗



パソコン教室

浜松市

サイト内を検索

ホーム > 市政 > 施策・計画 > デジタル・スマートシティの推進 > スマートフォン講座

更新日：2022年8月4日

スマートフォン講座

地域文化セミナー

[スマホ決済+活用術講座 \(PayPay版\)](#)
[スマホ講座 \(応用編\)](#)
[スマホキャッシュレス講座 \(ドコモ版\)](#)

障がいのある人向け講座

[聴覚に障がいのある人のスマートフォン講座](#)

<参考> 総務省「デジタル活用支援推進事業」について

デジタル機器・サービス活用に対する不安解消を目的に、総務省の「デジタル活用支援推進事業」を活用したスマホ教室が、全国の携帯ショップを中心に開催されています。内容は、マイナンバーの申請方法やマイポータルの活用方法などです。

受講は無料ですが、事前に申し込みが必要となりますので、各携帯ショップへ直接お問合せください。

詳しくは、[デジタル活用支援推進事業ポータルサイト \(別ウィンドウが開きます\)](#)をご覧ください。

携帯キャリアが主催する講座

各携帯キャリアでは、ショップを中心に講座が開催されています。

[株式会社NTTドコモ \(別ウィンドウが開きます\)](#)
[ソフトバンク株式会社 \(別ウィンドウが開きます\)](#)
[KDDI株式会社 \(別ウィンドウが開きます\)](#)
[楽天モバイル株式会社 \(別ウィンドウが開きます\)](#)



シルバー人材センター
社会福祉協議会



協働センター



商工団体・金融機関

(9) 情報発信の強化

情報発信の強化



浜松市官民連携PF Facebookページ

官民連携PFが開催するイベントや取り組んでいるプロジェクトなどを紹介中。

【フォロワー】101人（2022.8.26時点）

Facebookページリンク：

<https://www.facebook.com/hamamatsu.digitalsmartcity.platform>



浜松市公式note

市内のデジタル・スマートシティ関連プロジェクトを取材し、紹介記事を浜松市公式noteにて発信中。

【現在掲載中の記事】

- ① 講師派遣制度第1回
- ② 協働センターでのスマホ講座

浜松市公式noteリンク：

<https://hamamatsu-city.note.jp/menu/173803>



3 意見交換

(1) 人材育成について

①地域の大学と連携したスマートシティの人材育成 (CR-MAPプログラム) について

②浜松医科大学 次世代創造医工情報教育センター の創設について

③ 日本リスキリングコンソーシアムへの参画について



ABOUT CONSORTIUM

コンソーシアムについて

日本リスキリングコンソーシアムは、国や地方自治体、民間企業などが一体となって、日本全国あらゆる人のスキルをアップデートする「リスキリング」に取り組む新たな試みです。様々な企業によるトレーニングプログラムの提供や、就労支援、副業・フリーランス・アルバイトなどの幅広いジョブマッチングの機会を提供など、パートナーシップの輪を広げることで、全国の人々が学び続ける機会を創り出していきます。

MERIT

会員登録(無料)のメリット

MERIT
01

**デジタルスキルを中心とした、
初級から上級までのレベルに
合わせた200以上のプログラム。**

トレーニングプログラムは、大企業、中小企業、女性、シニア、経営者、次世代を担う若者など、すべての方にご利用いただけます。

さらに、エントリーレベルから高度なAIスキルまでカバーした200以上のトレーニングプログラムを取り揃え、誰もがスキルアップを目指せるプログラムを展開していきます。

MERIT
02

**スキルを活かせる
就職・転職・副業・
アルバイトをマッチング。**

トレーニングプログラムで得たスキルを活かすことのできる就職支援を行っています。就職・転職だけではなく、副業・フリーランス・アルバイトなど、様々な働き方にも対応する、幅広いジョブマッチングの機会を提供します。

MERIT
03

**あなたが受けるべき
プログラムが
すぐに見つかる機能が充実。**

特設ウェブサイト上でこれらのプログラムやサービスを一覧し、検索できる機能を提供します。何から始めるべきが迷っている、どんな支援があるのかわからない、そんな方には、同じような目的や年代・エリアの受講ユーザーのデータからのレコメンド機能もご用意しています。また、受講履歴を管理するマイページ機能で自身の学びを可視化できます。

日本リスキリングコンソーシアムへの参画について



主幹事

Google

協力・後援

総務省
Ministry of Internal Affairs and Communications

経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry

デジタル庁

石垣市 出雲市 IZUMO 伊勢市 愛媛県 大分県
 大阪府 北九州市 CITY OF KITAYUKU 熊本市 Kumamoto City GRAMEEN NIPPON KOBE
 佐賀県 JTB 感動のそばに、いっしょ。 Japan Shopping! Japan Shopping Tourism Organization SVJP 信金中央金庫 SCB
 IMPULSE 地域活性化センター 千葉県 栃木県
 鳥取県 富山県 長野県 Keidanren Policy & Action JAL JAPAN AIRLINES
 日本旅館協会 浜松市 広島県 福島県
 三重県 三島市 Mishima City 宮城県 Miyagi Prefecture Government 山形市 YAMAGATA CITY 横浜市 YOKOHAMA City of Yokohama

Recruit Works Institute

※五十音順

PARTNERSHIP

パートナー

RESKILLING PARTNER ※五十音順

i-Learning 株式会社アイラーニング Asteria Adobe indeed
 Google CROWDWORKS servicenow. cybozu
 CISCO salesforce TELEWORK MANAGEMENT WATNEY
 ORACLE Japan Deep Learning Association Microsoft
 HUBSPOT Meta progate
 POTEPAN CAMP Mind Shift Life YAHOO! JAPAN Lancers

Waris

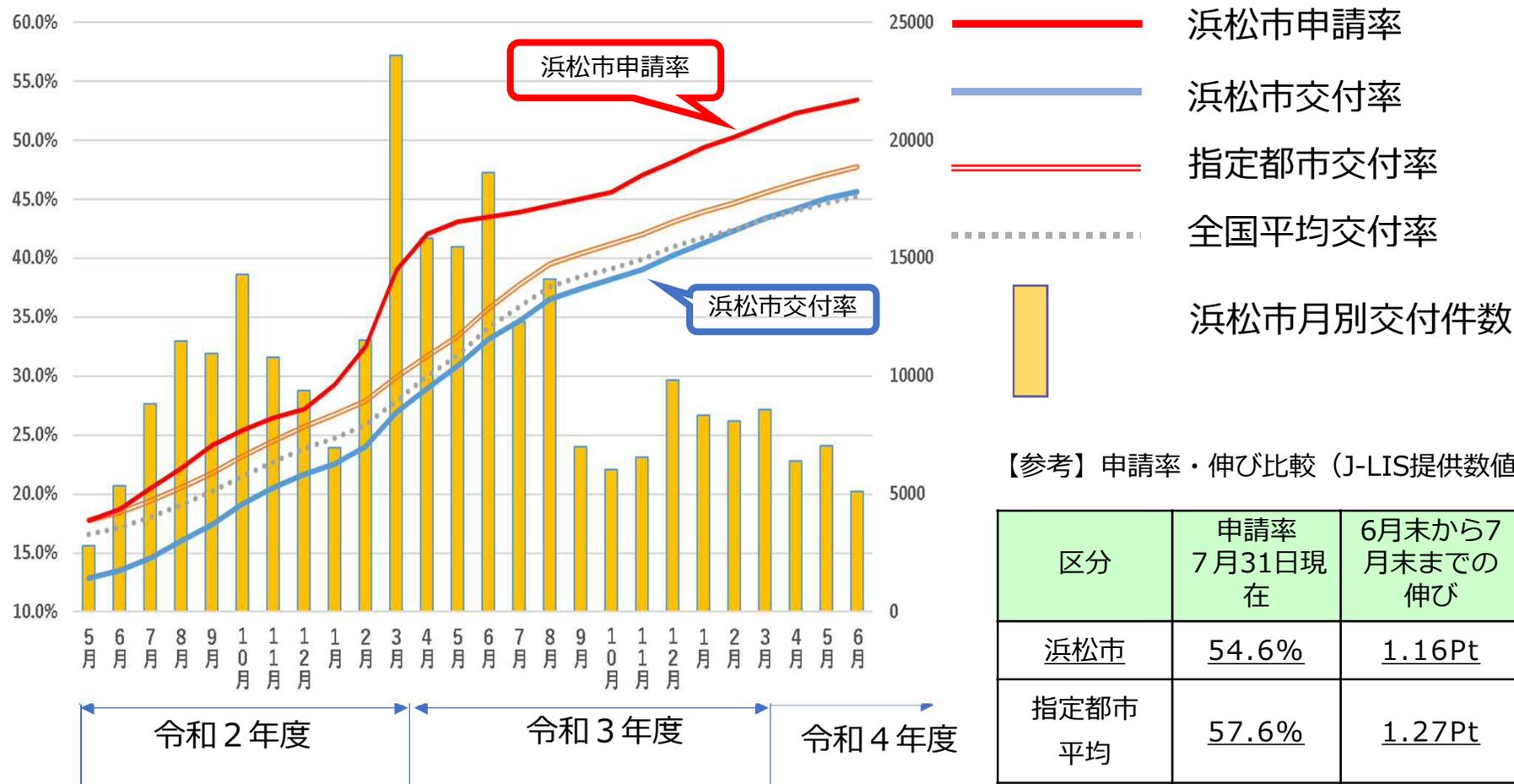
JOB MATCHING PARTNER

indeed WEB STAFF en エン・ジャパン CROWDWORKS
 neocareer PERSOL BIZREACH マイナビ
 Lancers RECRUIT AGENT Waris

出典：日本リスキリングコンソーシアム HP

(2) マイナンバーカードの交付と 利活用の促進について

① 申請実績（指定都市・全国平均比較）



(3) 本市におけるマイナンバーカード取得促進の取り組み

① 目的

マイナンバーカードは、安全・安心で快適な社会を構築するうえで基盤となるものであることから、令和4年度末にほぼすべての国民にマイナンバーカードが行きわたるという国の方針を踏まえ、市民の取得を一層促進し、本市のデジタル・スマートシティの取組を加速する。

② 取組方針

- ・ 年代別の取得状況や申請者の取得負担軽減に対応した効果的な推進
- ・ 民間企業や各種団体と連携した推進
- ・ マイナポイント事業と連動した効果的な推進
- ・ マーケティングにおけるサーロイン（3（作る）：6（届ける）：1（分析する））の考えやEBPMに基づく推進
- ・ 周知から申請サポート・カード交付に繋がる一貫性を持った取組推進

③ 取得促進に向けた取組

申請・交付等の負担軽減

- 1) 人が多く集まる場所での出張申請受付・申請サポートの実施
(協働センター、商業施設、ワクチン接種会場、大学等)
- 2) 交付体制の強化
(出張申請サポート等の委託)
- 3) 週末開庁の拡充

申請に繋がる周知・広報

- 1) 企業や各種関係団体を通じた周知・集客・取得勧奨
- 2) 年代毎の効果的な広報
- 3) 動画やSNSを活用した広報

カード取得へのインセンティブ

- 1) 国のマイナポイント第二弾の利用促進
- 2) 自治体マイナポイントの検討

利活用の促進

- 1) 対面での本人確認におけるマイナンバーカードファースト活動の民間企業等での横展開
- 2) カードの利用場面の拡充
- 3) 証明書等の手数料・利用料減額

(3) 本市におけるマイナンバーカード取得促進の取り組み

実施状況

1) 出張申請サポート実施状況

実施場所	実施日	実施（予定）回数	申請件数(2022.8.29時点)
協働センター	8/18(木)～12月末	37回	184件
プレ葉ウォーク	8/17(水)～8/31(水)	15回	549件
浜名湖ボートレース ※湖西市と共同	8/23(火)～8/26(金)	4回	37件
浜松オートレース	8/27(土)～8/28(日)、 9/9(金)～9/11(日)	5回	155件
ザザワクチン 接種会場	8/11(木)～8/14(日)、19(土) ～20(日)、26(金)～28(日) ※ワクチン接種実施日のみ実施	19回	403件
企業・団体	8/29(日)	6回	21件
イベント会場	8/21(日)、9/23(金)～25(日)、 11/27(日)	5回	17件

2) 常設申請サポート会場実施状況

実施場所	申請件数(2022.8.29時点)
各区役所（7か所）	11,423件
13協働センター等	1,825件

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

① マイナンバーカードの利活用シーンの拡大

健康保険証としての利用

- マイナンバーカードを**健康保険証**として利用できるオンライン資格確認の運用開始(R3.10~本格運用)
- カードリーダーにかざせばスムーズに医療保険の資格確認ができるほか、高額療養費の限度額認定証などの書類の持参が不要に
- 医療機関等で本人同意の下、**特定健診情報**や**薬剤情報**の閲覧等も可能に(R3.10~)

マイナポイント第2弾

- ①マイナンバーカード取得
 - ②カードの健康保険証利用申込
 - ③公金受取口座登録
- をすると、**最大2万円相当**のキャッシュレス決済サービスのポイントを付与
- ※①は第1弾(~R3.12.31)より切れ目無く、R4.1.1から申込付与開始(②③はR4.6.30開始)

コンビニ交付サービス

- コンビニで住民票の写しや戸籍証明書など**各種証明書が取得可能**(R4.2.15対象人口:10,997万人)

民間サービスにおけるオンラインでの本人確認

- 各種オンライン決済サービスにおける口座登録、証券口座開設、住宅ローン契約等の際、マイナンバーカードを利用することで、**確実・簡便な本人確認が可能に**
- カードを利用した民間サービスの提供事業者は3年間で約5倍になるなど、**着実に普及**(R4.7.18現在、**民間事業者160社**がサービスを提供)

マイナポータル

- 子育て関連手続の**申請等**をワンストップでできるサービスを提供
- 行政機関などが保有する**自分の情報(世帯情報・税・社会保障等)の確認**が可能

職員証・社員証としての利用

- **国家公務員**(H28.4)、徳島県庁(H29.6)で導入
- 民間企業の**社員証**としての利用(TKC、NEC、NTTcom、内田洋行、NTTデータが活用)

マイナンバーカードを活用した各種カード等のデジタル化等

- マイナンバーカードの電子証明書等を資格等の情報に紐づけることにより、マイナンバーカードを各種カード等として利用
- ➔ デジタル社会の実現に向けた重点計画(R4.6.7閣議決定)に基づく「マイナンバーカードを活用した各種カード等のデジタル化等に向けた工程表」に沿って推進
- **運転免許証**(~R7.3までに実現)その他の国家資格証、**お薬手帳**、**介護保険被保険者証**、**障害者手帳**、**母子健康手帳**、**ハローワークカード**、**在留カード**等
- マイナンバーカードを利用して新型コロナウイルスの接種証明書(電子版)が取得可能に
- マイナンバーカードの機能(電子証明書)を**スマートフォンに搭載**(令和4年度中実現予定)

利活用シーンが拡大し、マイナンバーカード1枚で様々なことが可能な社会に

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

②健康保険証としての利用



どんないいことがあるの？

より良い医療が可能に！

本人が同意をすれば、初めての医療機関等でも、特定健診情報や今までに使った薬剤情報が医師等と共有できる！



自身の健康管理に役立つ！

マイナポータルで自身の特定健診情報や薬剤情報・医療費通知情報が閲覧できる！



オンラインで医療費控除がより簡単に！

マイナポータルを通じた医療費通知情報の自動入力で、確定申告の医療費控除がよりカンタンに！



手続きなしで限度額を超える一時的な支払が不要に！

限度額適用認定証がなくても高額療養費制度における限度額を超える支払が免除される！



健康保険証としてずっと使える！

就職・転職・引越をしても健康保険証としてずっと使える！医療保険者が変わる場合は、加入の届出が引き続き必要です。



※マイナンバーカードの健康保険証利用には、ICチップの中の「電子証明書」を使うため、医療機関や薬局の受付窓口でマイナンバー（12桁の数字）を取り扱うことはありません。また、ご自身の診療情報がマイナンバーと紐付くことはありません。
※従来の健康保険証が利用できなくなるわけではありません。

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

③ コンビニ交付サービス

コンビニ交付サービスのイメージ



<浜松市の現状>

- 1)証明書の種類 印鑑登録証明書、住民票の写し、戸籍全部事項事項証明書、戸籍個人事項証明書
- 2)証明手数料の減額 2021年12月1日から2023年3月31日まで、証明手数料を200円減額
- 3)コンビニ交付率の推移

2021年4月	2021年10月	2022年4月	2022年7月
8.7%	12.4%	19.0%	21.4%

< (参考) 交付受付時間の比較 (いずれも年末年始は対応不可) >

- ・コンビニ交付 午前6時30分から午後11時まで (土日祝日も可能)
- ・区役所での交付 平日 午前8時30分から午後5時15分まで (土、祝日は対応不可)
日曜日 午前9時から正午まで

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

④ 様々な民間サービス・場面での利用機会の拡大

(1) 様々な民間サービス・場面で利用できる

現在：ネット証券の口座開設時の本人確認など、約160の民間事業者が利用。

→ R4年度～：銀行口座開設、生保契約、損保契約、信販契約、その他、様々な民間サービス、場面で利用できることをめざす。

※ 様々な顧客申込みが、スマホでスピーディにできる。（厳格な本人確認等が可能。）

※ 事業者は、変更後の住所等が、把握できるようになる。（R4年度中実現。本人同意が前提。）

※ カードがなくても、スマホだけでできるようになる。（電子証明書スマホ搭載。R4年度目処実現。）

メルペイの活用事例：銀行口座登録時の本人確認

😊 本人も事業者も、早い、楽、正確。



出典：2022年8月25日デジタル庁「マイナポータルAPI（情報取得系）の現在地と将来像」
～Appendix:マイナンバーカードの普及利活用について～

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

④ 様々な民間サービス・場面での利用機会の拡大

公的個人認証サービスを利用する民間事業者 ※160社より一部抜粋

事業者名	公的個人認証の活用事例	事業者名	公的個人認証の活用事例
(株)岩手銀行	オンラインでの本人確認サービスの提供	(株)野村総合研究所	プラットフォーム
(株)横浜銀行		(株)三菱UFJ銀行	住宅ローンのオンライン契約
PayPay銀行		日本医師会	HPKI(医師資格証)カードの発行
(株)NTTドコモ		日本郵便(株)	電子レターの受取り (MyPost)
三井不動産(株)			

出典：2022年8月25日デジタル庁「マイナポータルA P I（情報取得系）の現在地と将来像」
～Appendix:マイナンバーカードの普及利活用について～

マイナカードで事務効率化 明治安田生命、書類不要に

8/20(土) 14:15 配信 19  



明治安田生命保険がマイナンバーカードを使った事務手続きの効率化に着手することが20日、分かった。2023年1月には、個人年金保険の受け取りに必要な書類提出を不要にし、23年度中には引越しや改姓の手続きを自動化する。政府はマイナンバーカードの民間企業での活用を想定しており、今後他社にも広がる可能性がある。

マイナンバーカードには氏名や住所が登録されているほか、登録者が生存しているかどうかも分かる。明治安田は個人年金保険で年に1回行っていた受取人の生存確認などについて、マイナンバーカードを使って本人による手続きを省略する。

出典：2022年8月20日共同通信社

(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

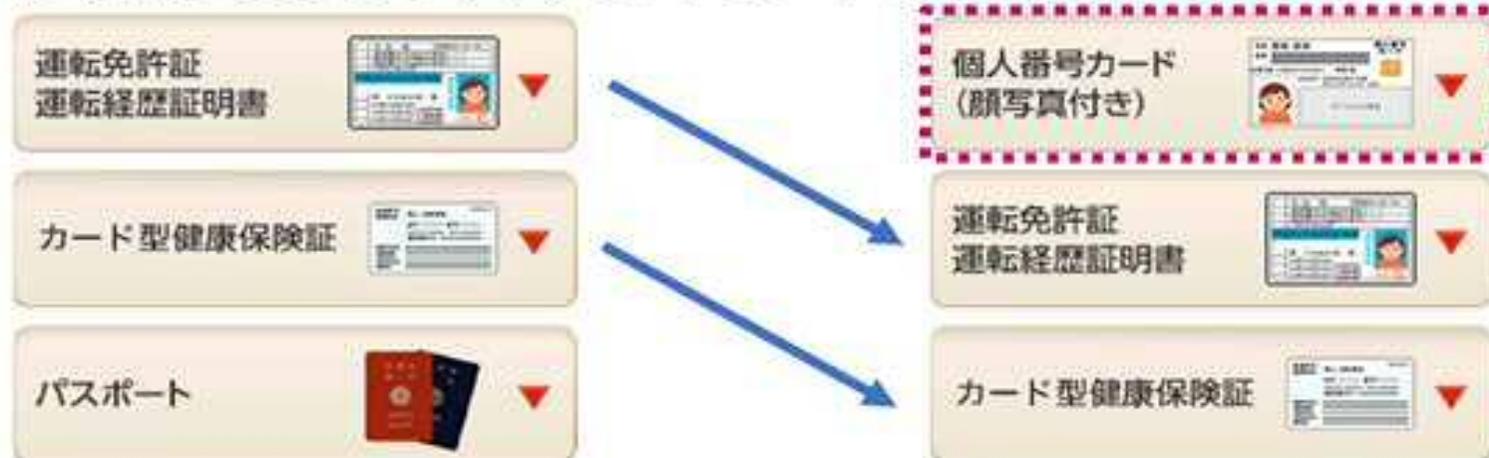
⑤ 庁内におけるマイナンバーカードファースト活動

マイナンバーカードファースト活動を全庁に要請（令和3年6月30日）

※ **本人確認書類**として**マイナンバーカード**を**最優先に案内**
（HP、各種案内文、窓口）

※ 令和4年4月17日に年度が変わったことを踏まえ、再要請

■ 本人確認書類としてマイナンバーカードを「最優先」とさせる



⇒ 庁内におけるマイナンバーカードファーストが浸透

【お願い】

申請率が50%を超えたことを踏まえ、民間事業者においても「マイナンバーカードファースト活動」を実践し、市民がマイナンバーカードを持つことのメリットを少しずつ実感していただく環境を構築したい。

<参考> 「マイナンバーカード機能のスマートフォン搭載」について

「マイナンバーカード機能のスマートフォン搭載」によって目指す姿

- 公的個人認証サービスの電子証明書の機能をスマートフォンに搭載することによって、スマートフォンひとつで、いつでもどこでもオンライン行政手続等を行うことができる環境の構築を目指す。
- また、スマートフォン搭載による利便性の向上等を通じて公的個人認証サービスのユースケースの拡大を促進し、安心・安全な本人確認等の手段として日常の様々なシーンで同サービスが利用される社会の実現を目指す。



※ 令和3年5月：公的個人認証法改正/ 令和4年度内：Android端末への搭載予定/ iPhoneについても早期実現へ

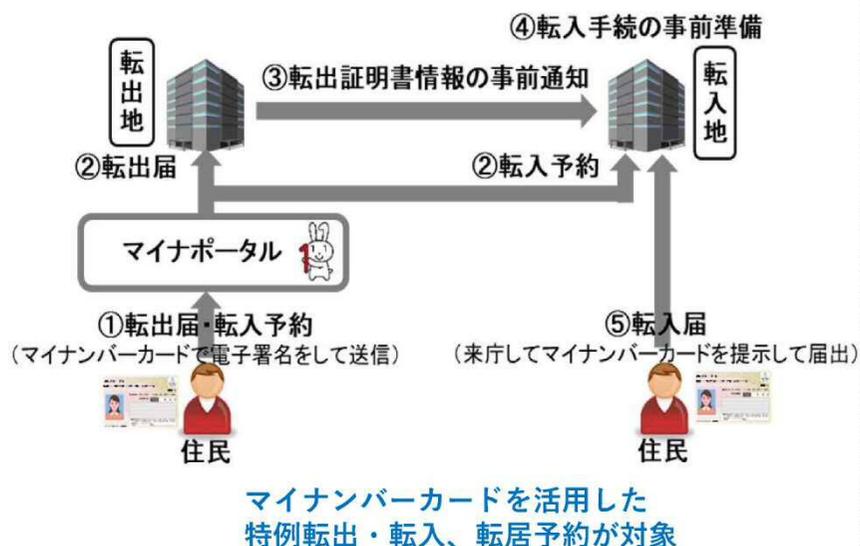
出典：2022年8月25日デジタル庁「マイナポータルAPI（情報取得系）の現在地と将来像」
～Appendix:マイナンバーカードの普及利活用について～

<参考> 全自治体でのマイナポータルを通じた転出・転入（転居）予約の実現

概要

令和4年度中に全自治体でマイナポータルを通じたオンラインによる転出届・転入（転居）予約を可能にし、マイナンバーカードの利便性向上を図るとともに、行政のデジタル化を推進する観点から、マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化を推進。

手続の流れ



■ 施策のスキーム

- ① **マイナンバーカード所有者が、マイナポータル**からオンラインで、**転出届と転入予約を同時**に行う。
- ② マイナポータルを通じて、転出地には転出届が、転入地には転入予約が、それぞれ届く。
- ③ 転出地が、転入地に対し、**転出証明書情報**（氏名、転出前の住所、生年月日、マイナンバー、転出先の予定年月日等）を通知。
- ④ 転入地が、転出証明書情報を基に転入届にあらかじめ印字を行うなど、**転入手続の事前準備**を行う。
- ⑤ マイナンバーカード所有者が、予約日に転入地に来庁し、転入手続を行う。

■ 実施要件（対象、補助率等）

- ・ 転出届の情報の取り込みや転入届にあらかじめ印字等を行えるよう、市区町村の**住民記録システムの改修**を推進
- ・ 補助率 **10/10** （社会保障・税番号制度システム整備費補助金（マイナンバーカード所有者の転出・転入手続のワンストップ化に係るものに限る。））

効果

- ・ **住民の利便性の向上**（オンラインでの転出届・転入予約、窓口で届出書類を作成する手間の軽減、手続に要する時間の短縮）
- ・ **市区町村の事務の効率化**（事務処理のデジタル化、事前準備による転入手続当日の事務負担の軽減、窓口混雑の緩和）

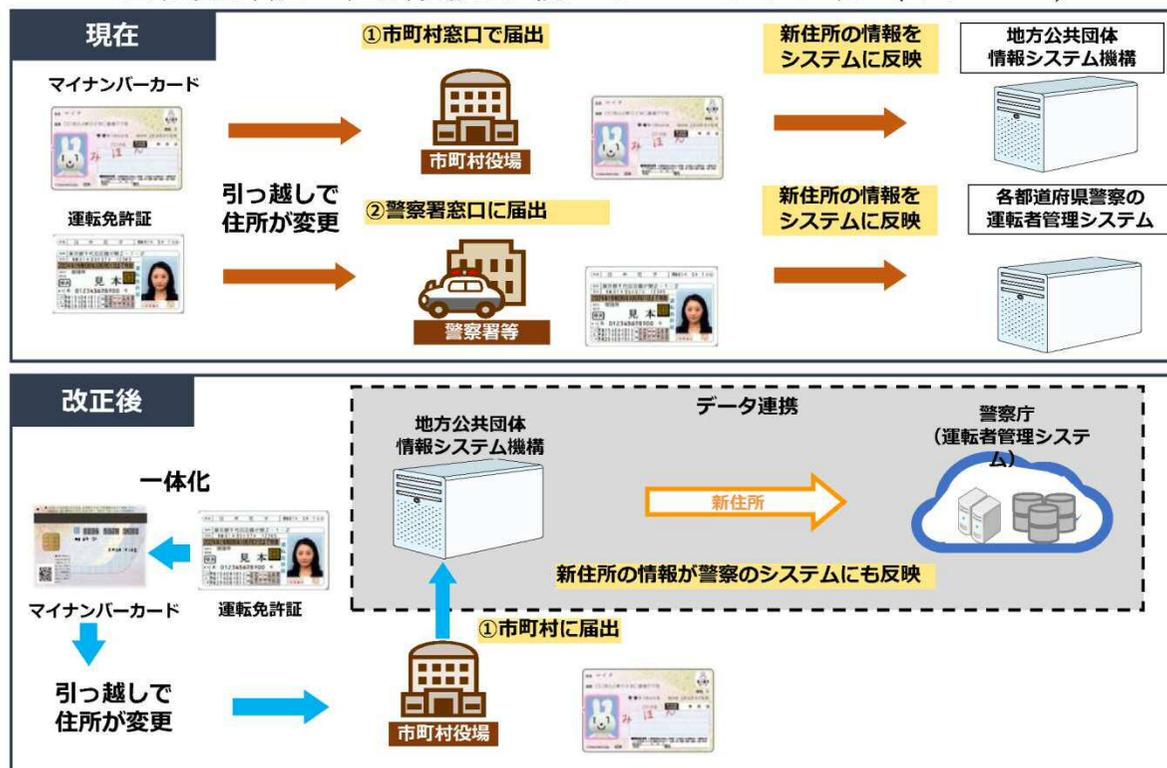
(4) マイナンバーカードの利活用の拡大について

<参考> マイナンバーカードと運転免許証の一体化の実現

令和6年度（2024年度）末にマイナンバーカードとの一体化を開始する。これに先立ち、警察庁及び都道府県警察の運転免許の管理等を行うシステムを令和6年度（2024年度）末までに警察庁が整備する共通基盤（警察共通基盤）上に集約する。

『デジタル社会の実現に向けた重点計画』抜粋（令和4年6月閣議決定）

運転免許証の住所変更手順のワンストップ化（イメージ）



出典：2022年8月25日デジタル庁「マイナポータルAPI（情報取得系）の現在地と将来像」
～Appendix: マイナンバーカードの普及利活用について～